

土曜教育「里山の生活体験教室」【西条市】

大保木で里山の生活体験教室

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の充実
- 地域住民との交流
- 地域活性化に貢献

活動場所	大保木公民館他		対象学校区名	大町小・西条南中・西条市内高校・新居浜南高校等		子どもの平均参加人数	9 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	6 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	8 日	土曜教育活動 推進員のべ人数	12 人	
	日・休業日等	2 日	9 : 00 ~ 15 : 00					
土曜教育サポーターのべ人数	15 人	地域住民・出身者		ボランティアのべ人数	58 人	大学生、健康づくり推進員 地域住民、出身者、保護者		
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 公民館だより		連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・石鎚ふれあいの里・自治会・健康づくり推進員他				

取組の概要

<主な取組内容> 山の体験プログラムを8回実施しました。

- よもぎ蒸しパン作りと、今後の体験教室について
春に摘んだよもぎを生地に、手づくりのあんこを入れながらパンを作りました。
- お山のマルシェ
「山の日」に野外で、食品の販売体験や設営準備、撤去作業などを行い、地域行事の運営に取り組みました。
- 大保木の樹木観察
公民館周辺に自生する樹木の観察をし、自然への理解を深めました。
- 運動会の手伝い
競技の準備に加わったり、進行をして大保木を盛り上げました。
- 大宮橋修復完成記念式典参加
修復工事を終えた、大宮橋の式典に参加し、大保木の伝統、遺産に対する知識を深めました。
- 薪割り体験
杉の木について説明を受けた後、実際に斧を持って薪割をし、山仕事を体験しました。昼食には割った薪を使って羽釜でご飯を炊きました。
- かずらでリース作り体験
大保木の山で採れたツルを編んで、クリスマスリースを作りました。
- こんにやく作り体験
昔ながらの方法でこんにやく芋からこんにやくを作りました。



(よもぎ蒸しパン作り)

地元の方にコツを教えてもらいながら作りました。交流しながら一緒にご飯を食べました。



(薪と炭づくり体験)

協力を得ながら初めての薪割に挑戦しました。

生徒の感想

- ・ 普段の生活では体験できないことができていいと思います。
- ・ 地域の方と交流しながら文化に触れられるのは、ここならではの活動で素敵だと感じています。

<特色ある取組>

- かずらでリース作り体験
地元の方々に一つ一つ教わりながらかずらを編んでいくことで、交流しながら活動が進みました。木の実や葉などを使って飾りつけをして自然のものにたくさん触れる時間となりました。大保木の自然を感じ、山の生活に触れ地域の人々との交流を通して山の魅力と生活を学ぶ。



(作り方を習い、編んで、飾り付けして...それぞれ素敵な作品に仕上がりました。)

事業を実施して

【成果】

- 高校生など若い世代が山に来ることによって、地元の方々は元気をもらうことができた。
- 高校生が大保木に関心を持つきっかけとなり、継続して通ってくれる生徒が増えてきた。
- 高校の先生が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)

【課題】

- 事業内容の周知方法
- 高校生のニーズと開催期間
- 講師やスタッフの協力体制の構築と人材発掘
- 持続可能な活動内容の企画